

# 社会資本総合整備計画（長野県流域下水道）の中間評価について

## 1. 設定目標

都道府県構想である長野県「水循環・資源循環のみち」構想の推進を社会資本総合整備計画の目標とする。令和4年度に「長野県生活排水処理構想(2022改定版)」に改定している。

### 1. 社会資本整備総合交付金

計画の名称	長野県流域下水道「水循環・資源循環のみち2015」構想の推進による、安全・安心な暮らしの実現
計画の期間	令和3年度～令和7年度(5年間)
交付対象	長野県
計画の目標	未普及解消・広域化による流入汚水量の増加を的確に見込み、ライフサイクルコストを検討した上で、適切かつ効率的な施設整備を進め、安心で快適な暮らしを実現する。また、計画的・効率的な施設改築を進め、施設の持続的な管理・運営により、安全で安心な暮らしを実現する。

### 2. 防災・安全交付金

計画の名称	長野県流域下水道「水循環・資源循環のみち2015」構想の推進による、安全・安心な暮らしの実現(防災・安全)
計画の期間	令和3年度～令和7年度(5年間)
交付対象	長野県
計画の目標	施設の老朽化対策及び耐震化対策を適切かつ効率的に行うことにより、施設の持続的な管理・運営を図り、安全で安心な暮らしを実現する。改築にあたっては、省エネ機器の導入等を行い、効率的な管理・運営を図る。また、令和元年東日本台風による流域下水道施設の被害を踏まえ、災害時の早急な復旧による継続的な運営が可能となるように、受変電設備、揚水設備等の耐水化を進める。

### 3. 防災・安全交付金(重点計画)

計画の名称	長野県流域下水道「水循環・資源循環のみち2015」構想の推進による、安全・安心な暮らしの実現(防災・安全)(重点計画)
計画の期間	令和3年度～令和7年度(5年間)
交付対象	長野県
計画の目標	施設の耐震化対策を適切かつ効率的に行うことにより、施設の持続的な管理・運営を図り、安全で安心な暮らしを実現する。また、令和元年東日本台風による流域下水道施設の被害を踏まえ、災害時の早急な復旧による継続的な運営が可能となるように、受変電設備、揚水設備等の耐水化を進め、頻発している豪雨に備える。

## 2. 定量的指標に対する評価

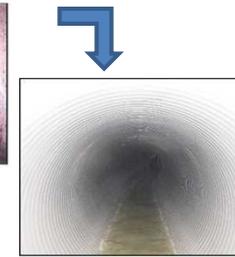
計画の中間年度（令和5年度）に達したため、実績値について評価する。

### ■施設の計画的な改築更新

#### ◎処理場・ポンプ場施設の改築更新の実施【社資】 【防災安全】

老朽化対策のため、ストックマネジメント計画に基づき、計画的効率的に改築更新を行う。

#### 管更生



#### 中央監視制御装置更新



- ・母数は改築更新が必要な施設数（118箇所）
- ・目標数は期間内に改築更新を実施する予定の施設数（109箇所）
- ・中間目標値48%（57箇所）に対し、54%（64箇所）

（施設数は、3流域4処理場のストックマネジメント計画に基づく施設）

表 下水道ストックマネジメント計画による改築が必要な施設の改築更新工事実施率

当初現況値 (R2末)	中間目標値 (R5末) 実績値	最終目標値 (R7末) 見込値
31%	48% 54%	83% 62%

<算定式>

$$\text{改築更新が必要な施設の工事実施率} = \frac{\text{改築更新工事を実施する施設数}}{\text{改築更新工事が必要な施設数}}$$

# 社会資本総合整備計画（長野県流域下水道）の中間評価について

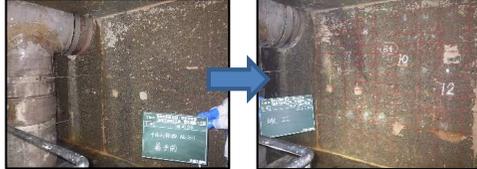
## ■施設の計画的な耐震化

■地震時に処理場機能を維持できるように下水道施設の耐震化を進める。

塩素砂ろ過棟耐震化



特殊マンホール耐震化



## ◎処理場・ポンプ場施設の耐震化の実施【防災安全】【防災安全（重点）】

耐震化対策のため、下水道総合地震対策計画に基づき、計画的効率的に耐震化を行う。

- 母数は耐震化が必要な施設数（25箇所）
- 目標数は期間内に耐震化を実施予定の施設数（22箇所）
- 中間目標値60%（15箇所）に対し、64%（16箇所）

（施設数は、3流域4処理場の下水道総合地震対策計画に基づく施設）

表 下水道総合地震対策計画による耐震が必要な管渠・処理場・ポンプ場施設の耐震化工事実施率

当初現況値 (R2末)	中間目標値 (R5末) 実績値	最終目標値 (R7末) 見込値
44%	60% 64%	88% 88%

<算定式>

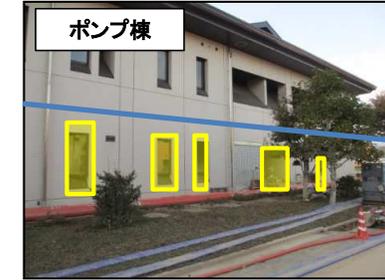
耐震化が必要な施設の工事実施率  
= 耐震化工事を実施する施設数  
/ 耐震化工事が必要な施設数

## ■頻発する豪雨に対応した施設の耐水化

■浸水時に処理場機能を維持できるように下水道施設の耐水化を進める。



電気室の2階への移設  
防水扉設置  
窓閉塞



防水扉設置  
窓閉塞

## ◎処理場・ポンプ場施設の耐水化の実施【防災安全】【防災安全（重点）】

頻発している豪雨による浸水被害防止対策のため、耐水化対策計画に基づき、計画的効率的に耐水化を行う。

- 母数は長野県全流域処理場数（4処理区）
- 目標数は長野県全流域処理場数（4処理区）
- 中間目標値（通常分）50%（2処理区）に対し、75%（3処理区）
- 中間目標値（重点分）75%（3処理区）に対し、75%（3処理区）

<算定式>

3流域4処理場の耐水化工事実施率  
= 耐水化工事を実施する処理場数  
/ 長野県全流域処理場数

表 耐水化工事実施率（通常分）

当初現況値 (R2末)	中間目標値 (R5末) 実績値	最終目標値 (R7末) 見込値
25%	50% 75%	100% 75%

表 耐水化工事実施率（重点分）

当初現況値 (R2末)	中間目標値 (R5末) 実績値	最終目標値 (R7末) 見込値
25%	75% 75%	100% 75%

# 社会資本総合整備計画（長野県流域下水道）の中間評価について

## ■雨天時浸入水対策への対応検討

### ◎雨天時浸入水対策計画策定検討調査の実施【防災安全】

汚水管等からの溢水被害の未然防止のため、流域関連公共下水道管理者と連携し、雨天時浸入水対策計画策定のための検討調査を実施する。

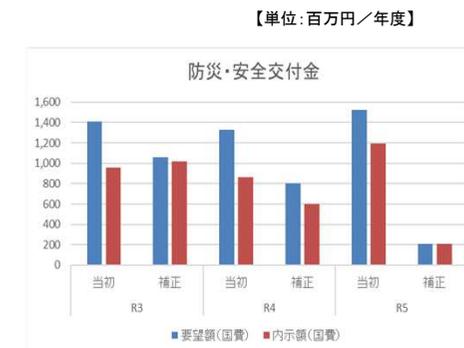
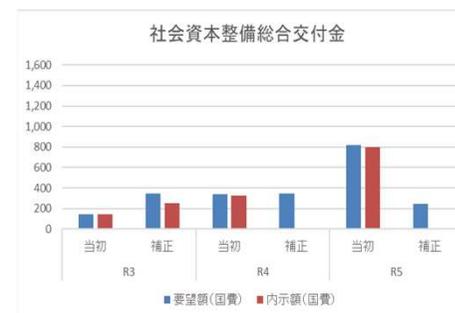
- ・母数は長野県全流域処理区数（4処理区）
- ・目標数は老朽化が進んでいる3処理区（犀川安曇野流域を除く3処理区）
- ・中間目標値75%（3処理区）に対し、75%（3処理区）

表 3流域4処理区の雨天時浸入水対策計画策定のための検討調査実施率

当初現況値 (R2末)	中間目標値 (R5末) 実績値	最終目標値 (R7末) 見込値
0%	75%	75%
	75%	75%

<算定式>  
 3流域4処理区の  
 雨天時浸入水対策計画策定のための  
 検討調査実施率  
 = 検討調査実施処理区数  
 / 長野県全流域処理区数

## （参考）予算状況



## 3. 評価結果と今後の方針

### (1) 老朽化対策

老朽化対策について概ね計画どおりに進んでいる。引き続き、ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的な下水道事業の運営を行う。

### (2) 地震対策

地震対策について概ね計画通りに処理場施設の耐震性能向上が図られており、安全性が向上した。引き続き、総合地震対策計画に基づき対策を推進する。

### (3) 浸水対策

耐水化計画を前倒して策定できたことで、耐水化対策工事への早期着手が可能となった。引き続き、計画に基づき、施設の耐水化を推進する。

### (4) 雨天時浸入水対策

雨天時浸入水対策計画の策定により、関連市町村とより緊密に連携をとって対策を進めることができようになった。引き続き、頻発するゲリラ豪雨に備えて関連市町村と連携し、発生源対策や豪雨時の情報発信などソフト対策を促進する。